

お客様各位

吉野家の牛肉の安全性について

12月24日、米国ワシントン州でBSE感染牛が確認されました。

これを受けて日本政府は、詳しい事実が判明するまでの当面の措置として同日付けで米国からの輸入検疫証明書の発給を止め、事実上輸入を停止しました。

しかしながら弊社の使用しております米国産牛肉は、その安全性について国際基準（OIE - 国際獣疫事務局、WHO - 国際保健機構）で安全が確認されているショートプレート（バラ肉）のみであり、感染の危険があるとされる部位（脳・背骨など）が混入することはありません。また、BSE発生率の極めて低いとされる生後24ヶ月未満の牛肉のみを使用しておりますので、安心してお召し上がりいただけます。

今後とも弊社ではお客様に安全な商品を提供するために、全力で取り組んでまいります。皆様におかれましては、引き続き吉野家をご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

平成15年12月
吉野家ディー・アンド・シー
代表取締役社長 安部修仁